

認定特定非営利活動法人

2026年 新春号

# 大津夜まわりの会ニュース

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール: yomawarinokai@gmail.com

<https://otsu-yomawarinokai.org/>



## 新年あけまして おめでとうございます

明けましておめでとうございます。

昨年6月、最高裁は、厚生労働大臣が2013年から15年に行った生活保護基準の引き下げが違法であるとの判決を下しました。10年以上に及ぶ運動と全国弁護士で勝ち取った成果です。しかし、国は、この最高裁判決を受けてもなお、引下そのものが違法とあされた訳ではないなどと詭弁を弄し、引下のやり直しや、原告以外への補償を抑制しようとしています。国は、生活保護制度は、生存権という憲法上の人権を守るセーフティーネットだということを改めて意識するべきです。

さて、昨年10月、高市政権が発足しました。とどまることを知らない円安と物価高、米価格の高騰が続き、市民の生活は厳しさをます一方です。台湾有事に関する発言で対中関係を悪化させています。OTC類似薬の負担増など、国民生活を圧迫する一方で軍事費のGDP比2%への増額を前倒しするなど、市民のためになる政策は皆無です。新聞やテレビのニュースを見ても落胆するばかりの日々です。市民の思いが届く政治の実現のために何ができるかを皆さんと考えていきたいと思えます。

さて、当法人は、大津市から受託した事業の外に、サロン事業や、子どもの学習支援事業など、大切な活動を一生懸命に続けています。行政からの委託費も限られる中で皆様からの暖かいご支援に頼った運営が続いています。当法人の大切な活動を続けていくためには、皆様の物心両面の支えが必要です。本年もどうか皆様の今まで以上のご支援をお願いいたします。

**赤い羽根 つかいみちを選べる募金  
「ネットde推し活プロジェクト」  
ご協力のお願い**

認定特定非営利活動法人

大津夜まわりの会

理事長 永芳 明

(弁護士：滋賀第一法律事務所)



滋賀県共同募金会の「つかいみちを選べる募金」で、大津夜まわりの会には毎年多くの方々からご寄附をいただいております。皆様の浄財は、助成事業の自己負担分や食料支援などに充当でき、活動の充実を図ることが出来ました。毎年連続の方も多く、今回初めての方ともども皆様方の温かいご理解、ご支援によって、当会の活動が力強く支えられていることにあらためて深謝いたします。この募金はことしも実施され、当会も12年連続でエントリーされました。募金受付は3月末日まで、所定の払込用紙（当会にあります）によって振り込んでいただきます。ぜひとも、あなたのご寄附の「つかいみち」に当会をお選びいただき、熱い応援エールをお願いいたします。

また、新しい寄附のカタチ『ネットde推し活プロジェクト』にもエントリーしています。こちらにも応援よろしくをお願いいたします。

下記のQRコードから是非とも当会への寄付をよろしくをお願いいたします。

滋賀県共金会  
赤い羽根「ネットde推し活プロジェクト」へリンク



第25回

# 越冬支援のつどい



12月21日(日)第25回「越冬支援のつどい」は、あいにくの雨でしたが、膳所診療所さんのご厚意により待合室を利用させて頂き、暖かい室内で無事に行うことができました。来場者は、ボランティアさんを含め129人の参加でした。越冬支援に向けて寄せられた寄贈品は、お米200<sup>kg</sup>、電子レンジ、衣類、食品、毛布などと、当日の会場にて寄附金と募金箱あわせて28,000円、また会場以外でも当事務所や口座に12月末までに231,000円、合計259,000円の寄附金と多くの善意が寄せられました。当日200袋用意した「食品を入れたお楽しみ袋」と、2kgに分けたお米袋を持って帰っていただき、会場にこられなかった方には届けさせていただきました。会場では、大津社会福祉事業団が豚汁、大津生活と健康を守る会の炊き込みご飯が振る舞われました。会場に設置されたテーブル席で、炊き出しをほうばりながら談笑するなどにぎやかでした。また「医療・介護相談」「法律相談」「生活相談」が専門家により行われました。



**主催** : 大津夜まわりの会 (滋賀県共同募金会「NHK歳末たすけあい」助成事業)  
**協力** : 大津市社会福祉協議会、大津市社会福祉事業団、大津生活と健康を守る会  
 膳所診療所、ぜぜ健康友の会、びわこダルク (50音順)



## 心温まる応援ありがとうございました



大津夜まわりの会主催ですが、膳所診療所、ぜぜ健康友の会、大津市社会福祉協議会、大津生活と健康を守る会、大津市社会福祉事業団、びわこダルクの協力で、つどいの開催にあたり、お米を小分けする作業などの事前準備や当日は、朝早くから会場設営や豚汁の仕込みに炊き込みご飯の準備、お楽しみ袋のセットと、本当に多くのボランティアの方々に支えられて成り立っています。小さなNPO団体の力だけではなかなかやりきれません。関わって下さった皆さまには、感謝しかありません。10月号のニュースでは「お米が足りません、助けて下さい」とお願いしたところ、つどいまでに200<sup>kg</sup>のお米を届けて下さいました。おかげさまで、つどいでのお米の配布に食堂での食事提供に、食料支援にとこれまでと変わらぬ支援を続けることができます。本当にありがとうございます。

